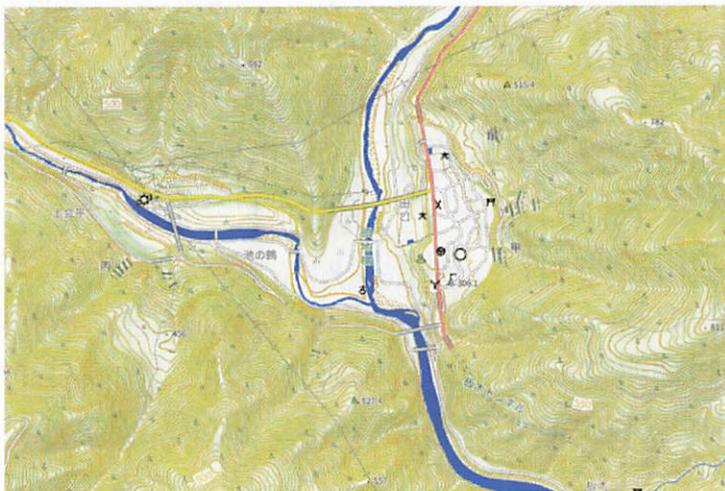


2020年球磨川流域豪雨災害現地調査資料

手渡す会は治水ありきの対応を避け、温暖化による豪雨災害の事実を解明することに集中してきました。今回は、この豪雨災害の事実と河川整備計画の矛盾を公共事業の視点から検討するための現場調査を行うことにしました。



五木村 ダム反対から促進へ そして今は 相良村 ダム促進からダム反対へ そして今は
それでも、流域住民が一つになれるのは、自然豊かな球磨川水系であって欲しいという願い

清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会

2020年球磨川流域豪雨災害に関する現地調査の行程

3月24日

頭 地 昼 食

川辺川ダム建設地 美しい渓谷を破壊する九州一大きい多目的ダム⇒日本一大きい治水ダム

藤田の吊り橋 3200m³/s問題 ダム建設に必要な洪水を捏造

柳瀬地区 生駒さん・田副さんの話 遊水池問題(川辺川の氾濫常襲地問題)

合流点 第四橋梁ダム化問題 氾濫エリアを巡視 ダムのために災害の事実を無視

山田川(染戸橋一出町橋) ダムに必要な事象の捏造

人吉駅前信号機のある交差点(人吉橋の様子が見える場所:旧河道)

温泉町堤防 市街地の地形と旧河道・用水路とまちづくり問題 基本高水治水が災害を激甚化

大 橋 球磨川の流の特徴 管理型水位計 川辺川ダム建設のための水位捏造

3月25日

渡地区 茶屋集落の三つの悲劇と住民の知恵 千住園の二つの悲劇 橋も鉄橋も崩壊

球泉洞駅 松本橋崩壊 嵩上げが仇に ・ダムがつくりだした水害常襲地帯の漆口

瀬戸石ダム ダムがつくりだした水害常襲地帯 ダムがつくりだす激流

瀬戸石駅 なぜ駅は壊滅したのか 基本高水治水の矛盾

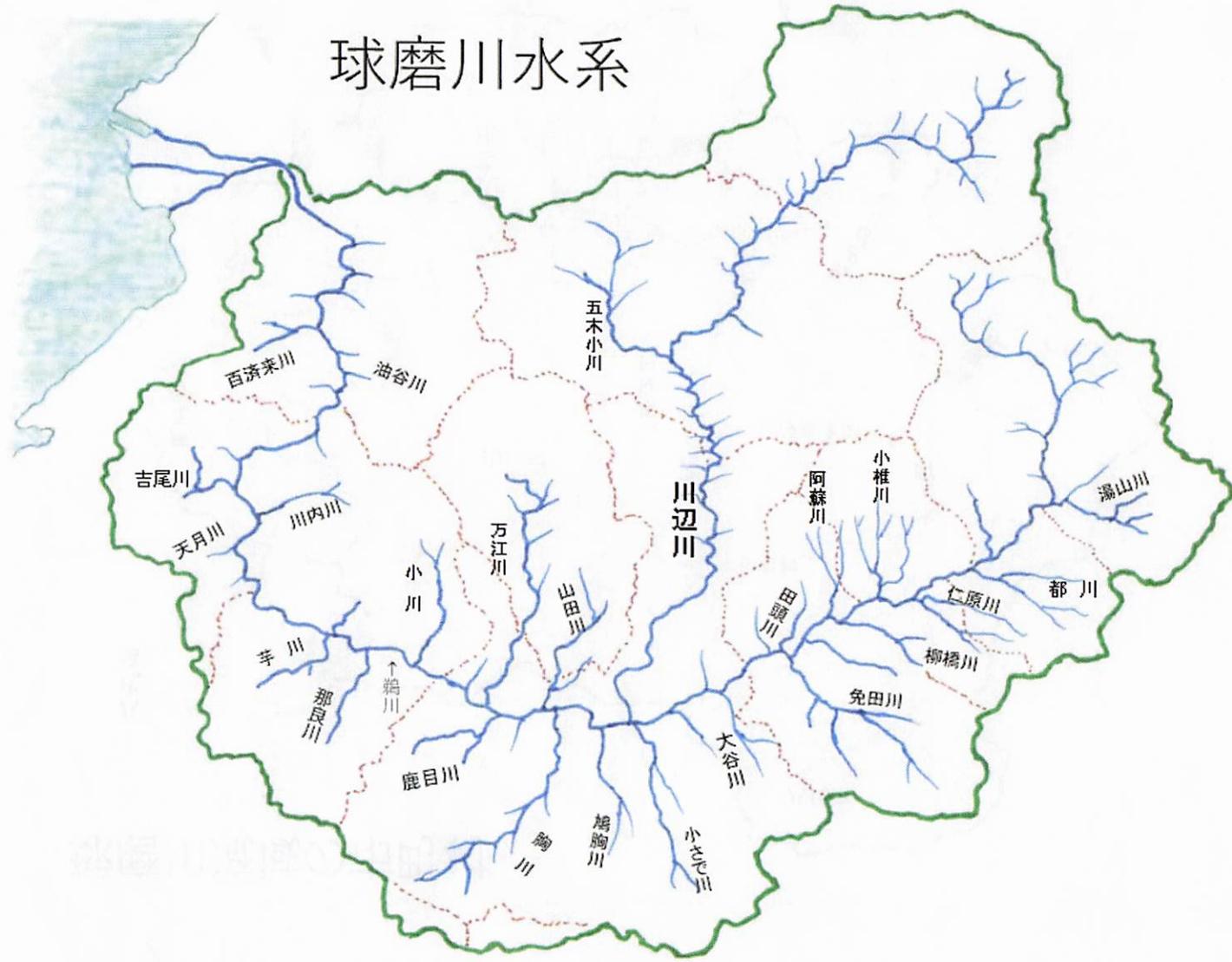
八代市 昼 食

【国交省八代河川国道事務所】

球磨川流域の市町村



球磨川水系



ダム屋がほれ込む美しいV字谷溪谷 吊橋が見てた洪水は

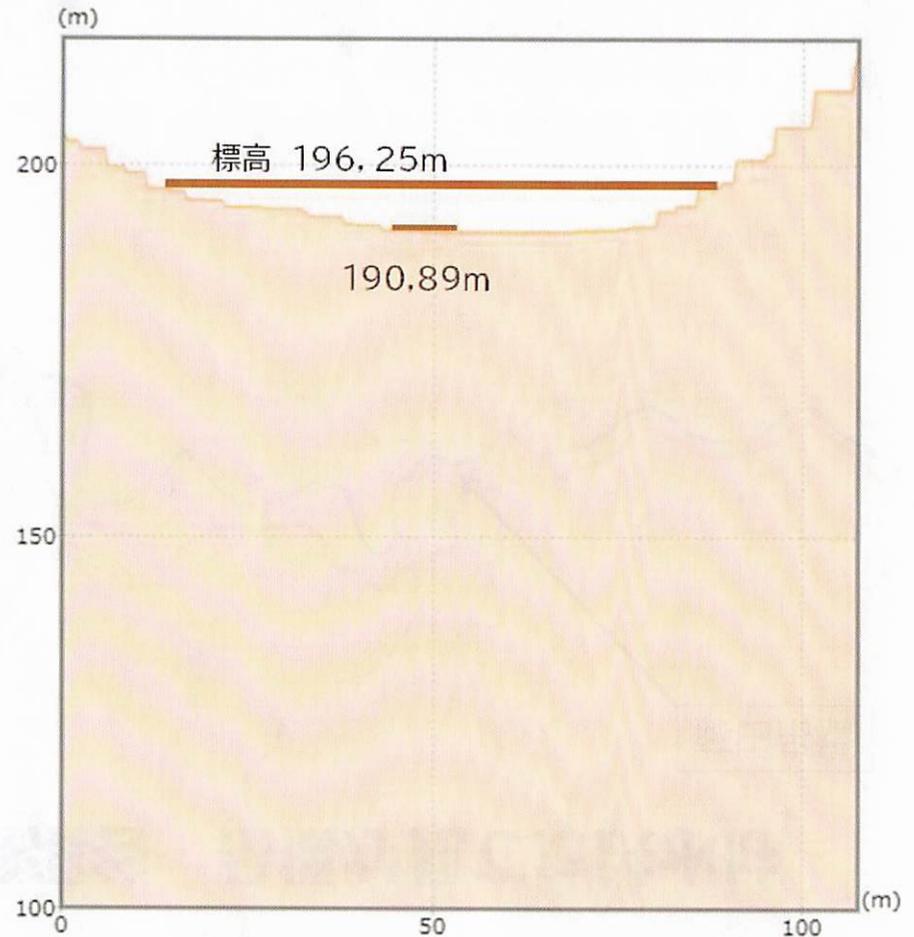


藤田吊橋

吊橋がダムのために捏造した3200m³/sは大嘘であることを教えてくれた

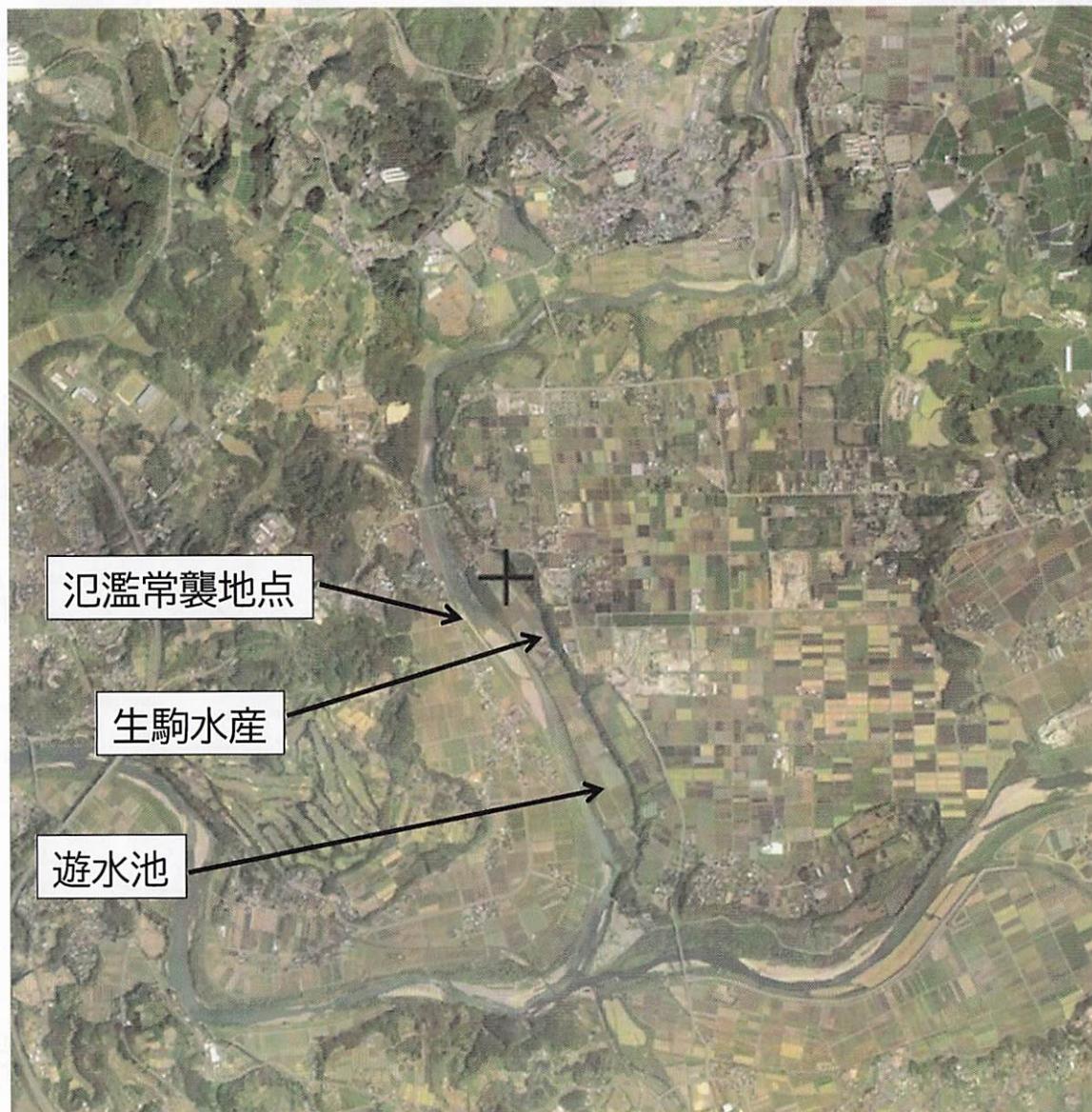
吊橋

吊橋は無傷、
流木一つ引っ掛っていない

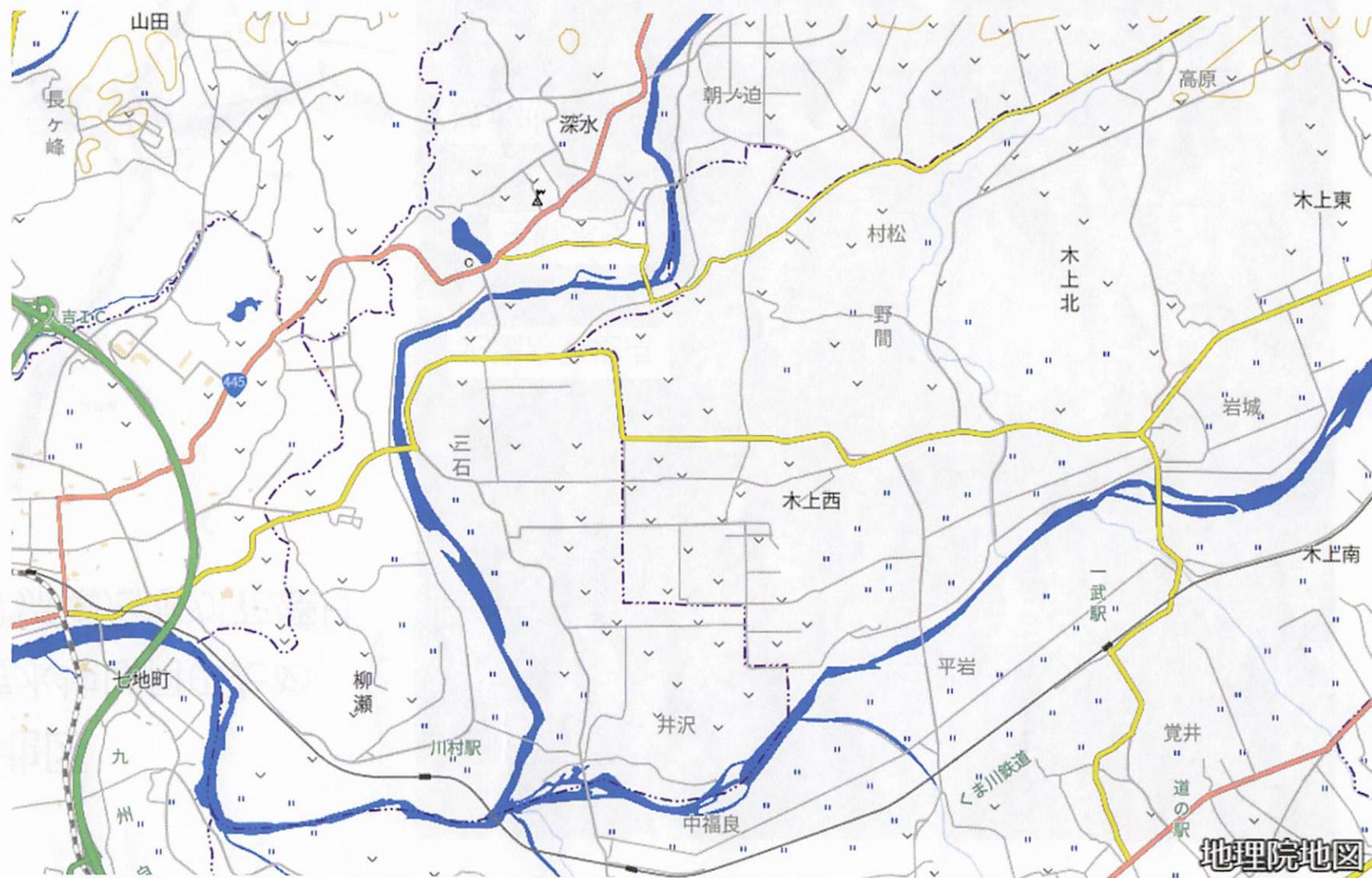


柳瀬地区

この遊水地は何のため
いまは流域治水が花盛り

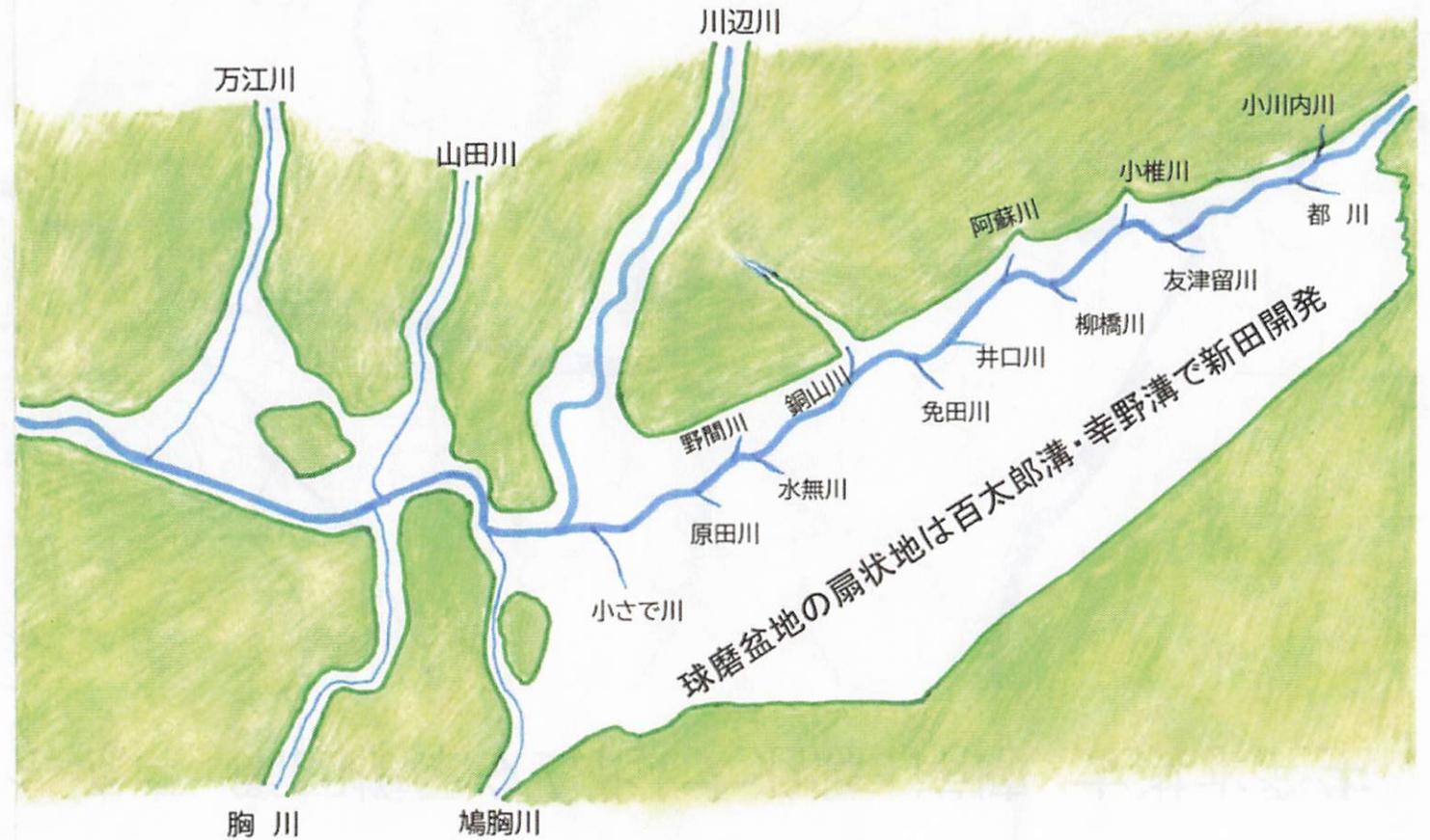


球磨川・川辺川合流点 川辺川ダム計画を一気に押し流す激流の大洪水が発生

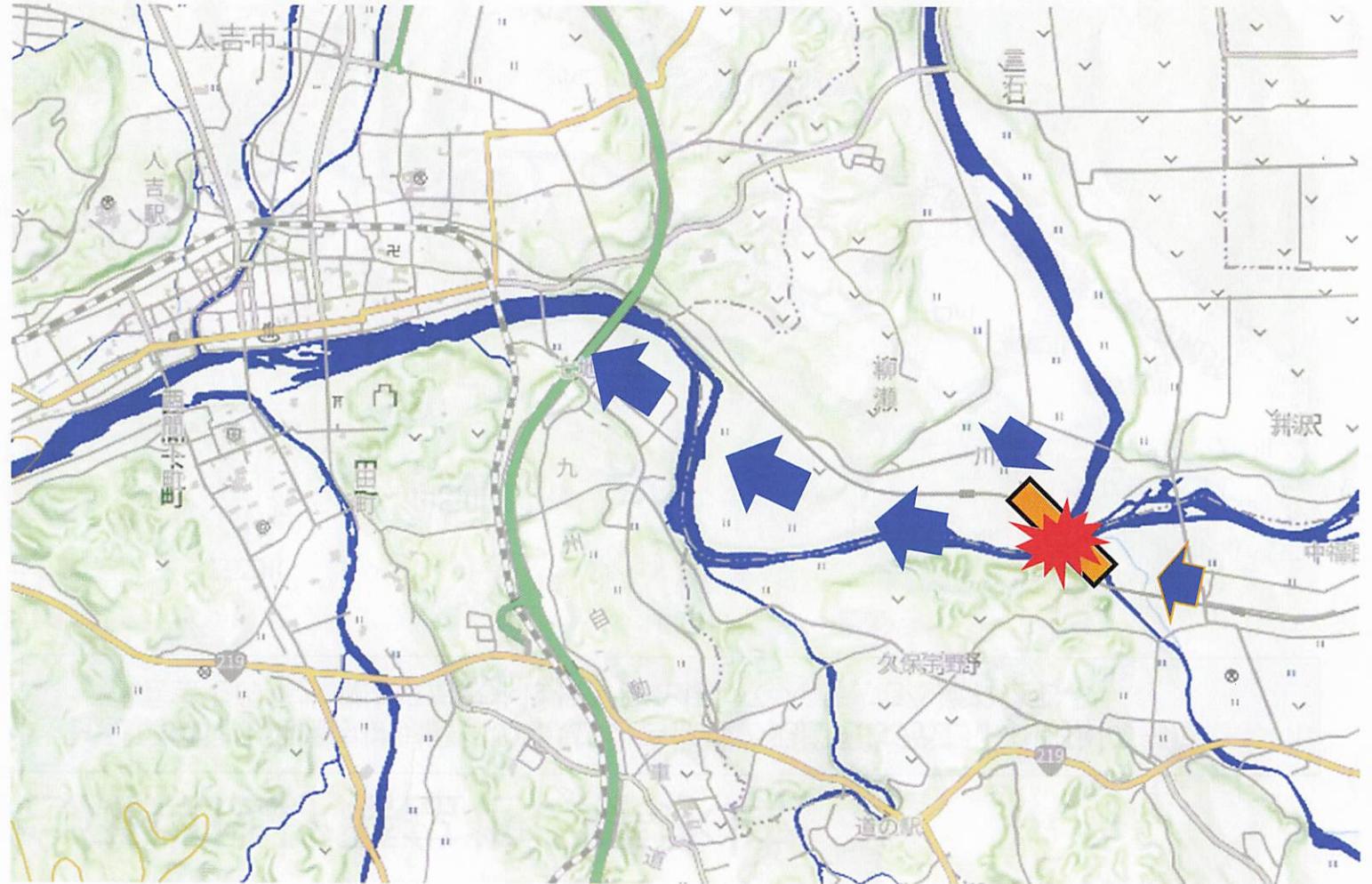


合流点は球磨盆地の集水域

球磨盆地の氾濫原は球磨川の領域、人吉盆地の氾濫原は万江川・山田川の領域
球磨盆地の集水域にきた洪水は狭窄部を抜けて人吉盆地へ流れ込む



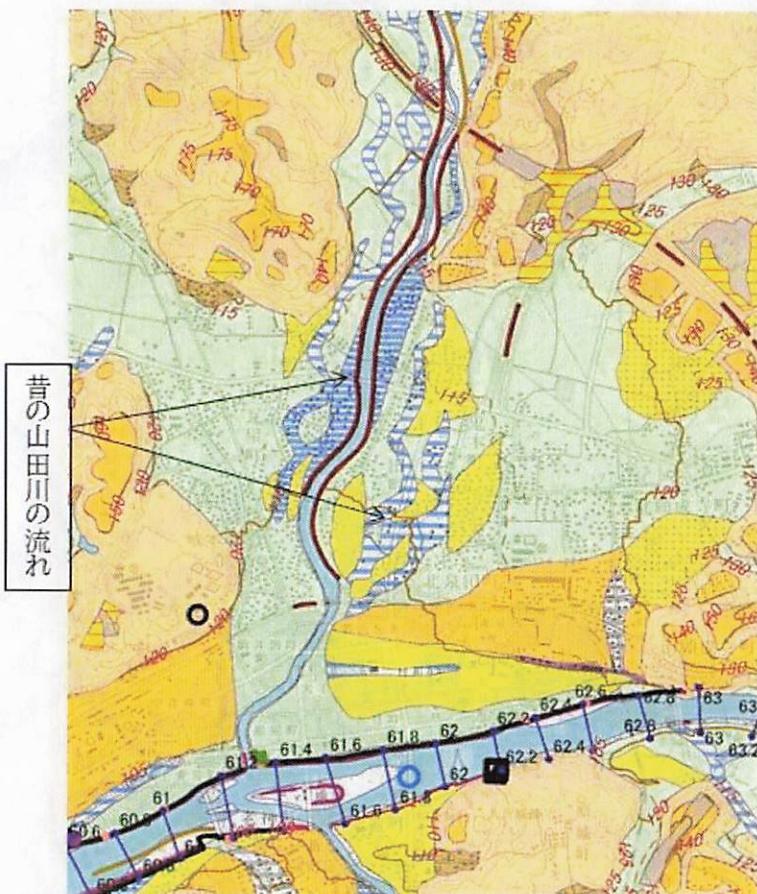
合流点 第四橋梁ダム化 大氾濫 崩壊 大洪水発生



人吉市街地の地図 水害・防災にとって一番大切なことは「川と土地の成り立ち」を具体的に知ることである



山田川が流れる市街地が氾濫常襲地帯になったのは



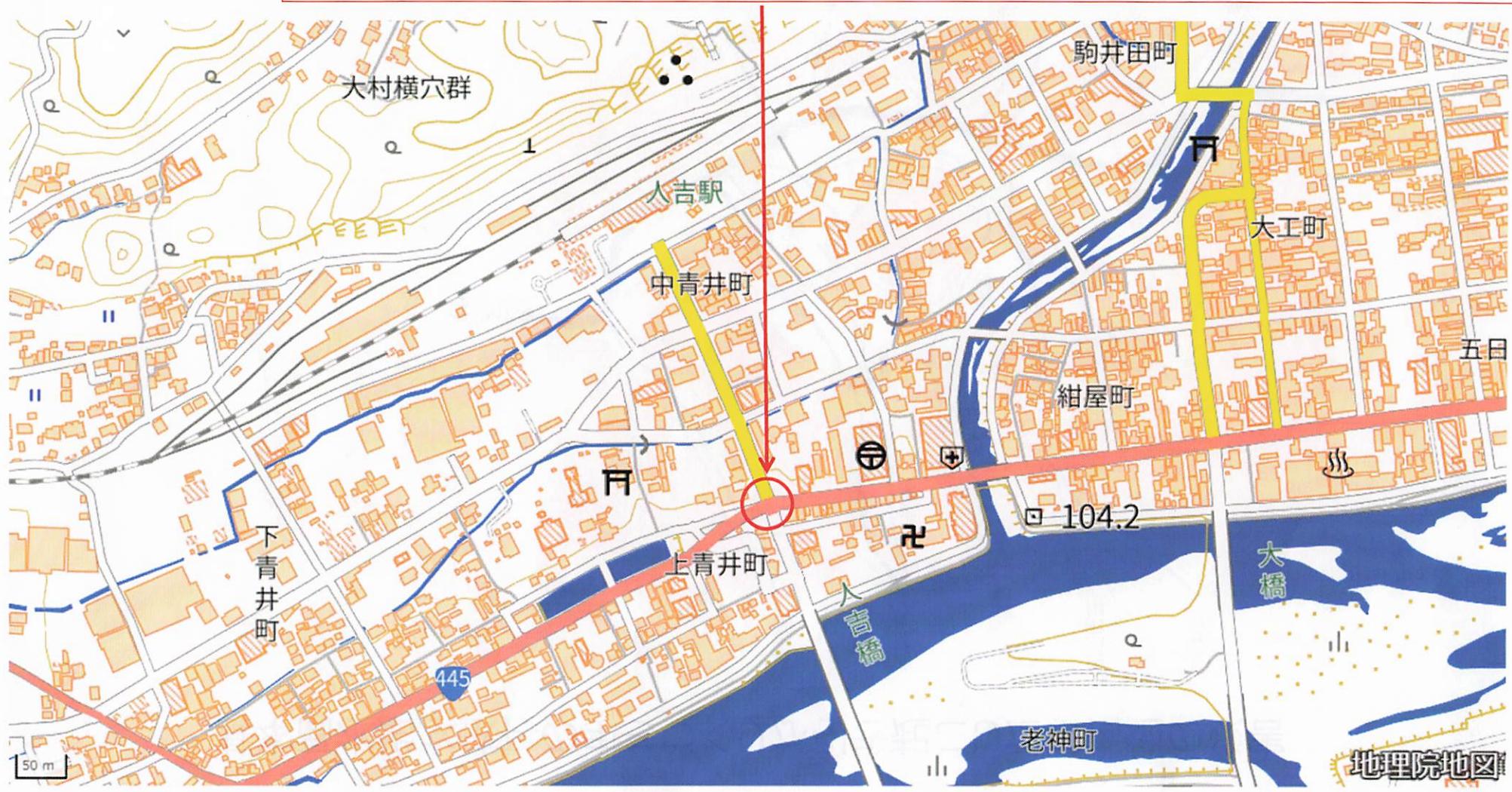
連続堤防が
市街地を氾濫常襲地帯に変えた

いまの山田川の姿

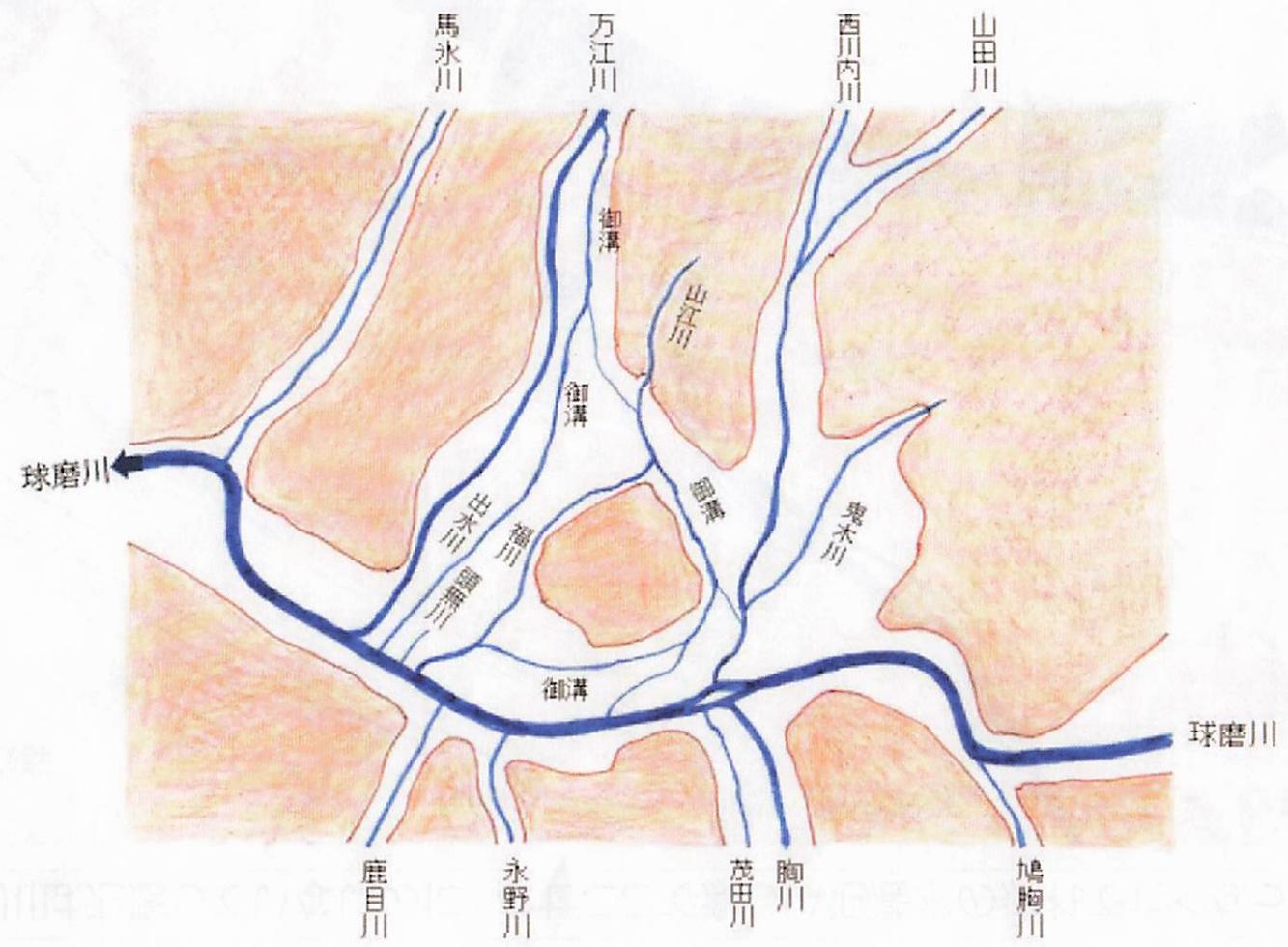


川はあちこちと流れを変える自然 流れを固定すると暴れ川に変貌する

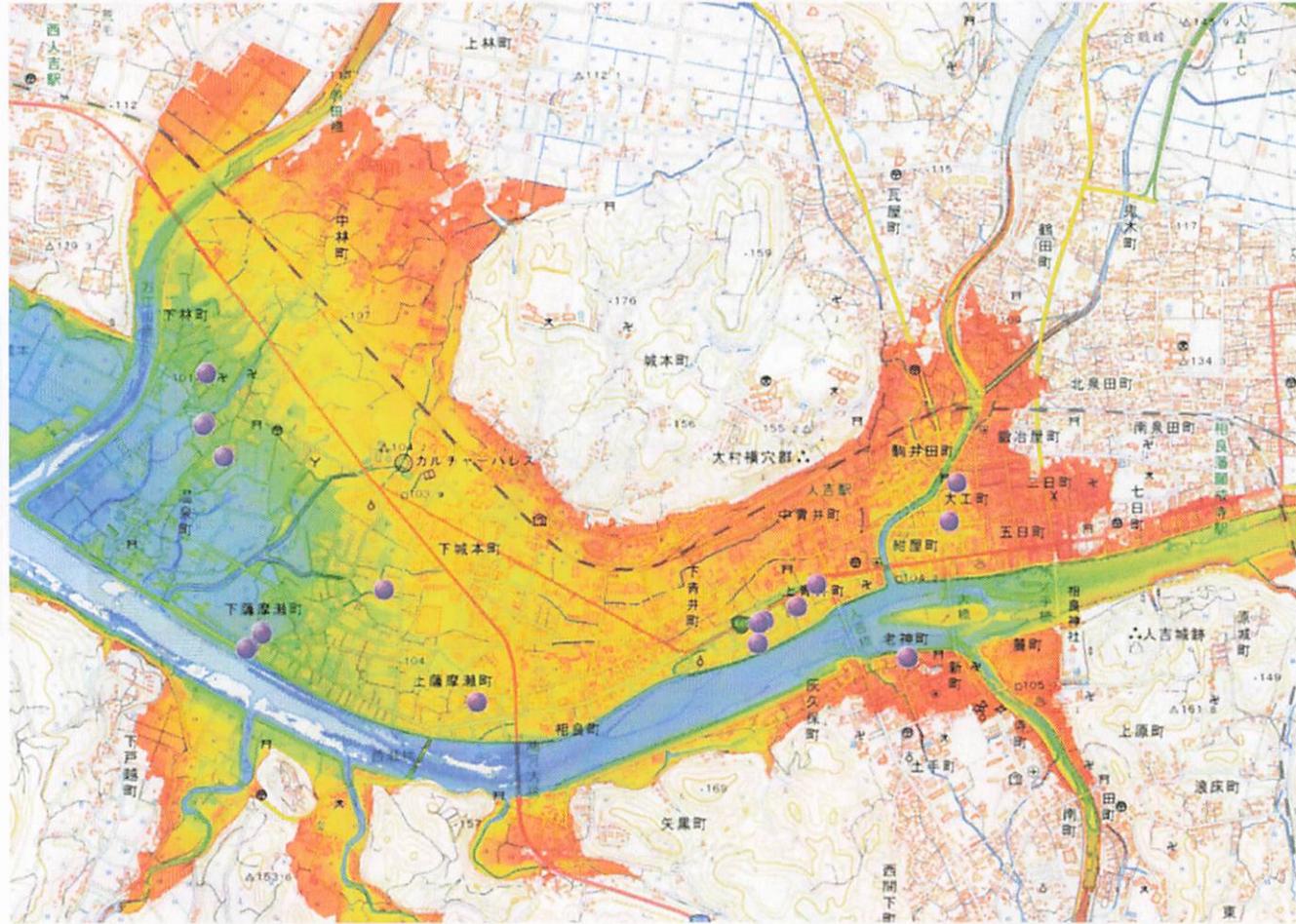
まだ球磨川は氾濫していないのに なぜここで激しい氾濫水の流れて亡くなったの



基本高水治水依存のまちづくりが引き起こした市街地の災害

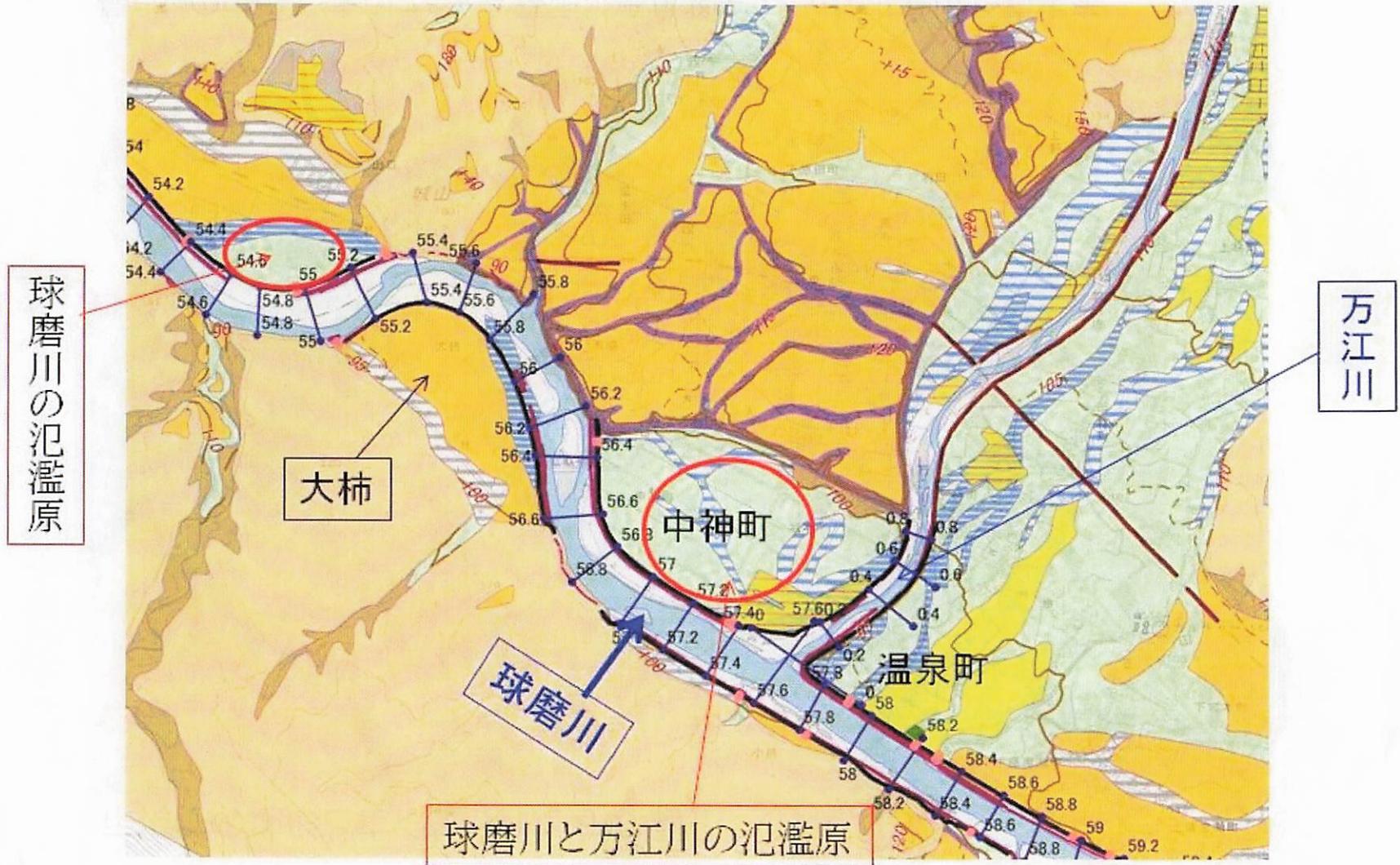


市街地の地形と亡くなられた方の場所



暮らしの中の流域ではどんな豪雨災害が発生するのかに関する事実を知ることが命を守る知恵となる

55と56, 4 堤防決壊場所 球磨川の洪水で決壊したのではない

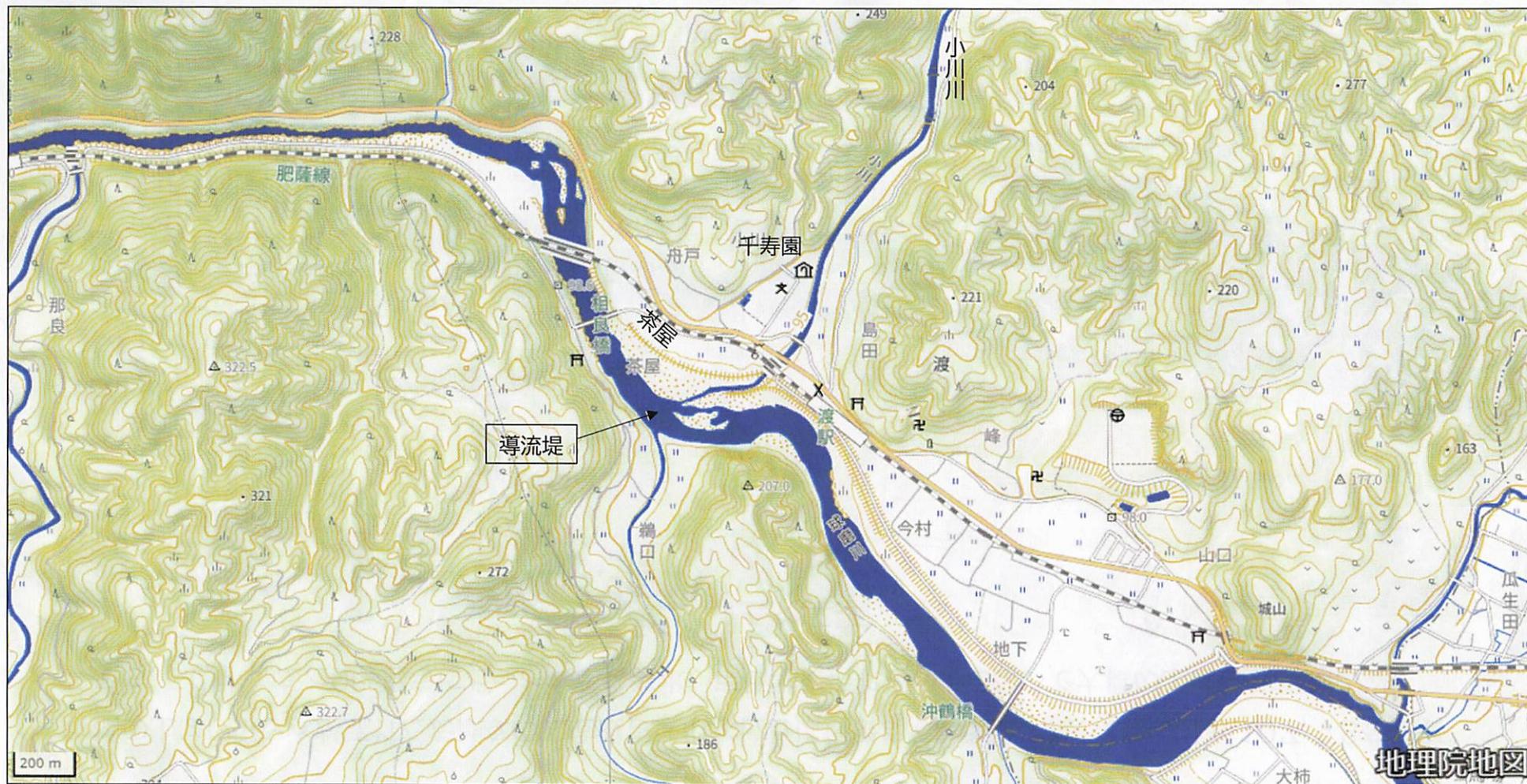


橋の上はしぶき水が流れただけなので危機管理型水位計は最後まで計測出来たとピーク水位107.78を公表
でも、この水位だと9時過ぎにどっと大きな洪水が市街地に流れ込んでこないで大橋の上はしぶき水になる

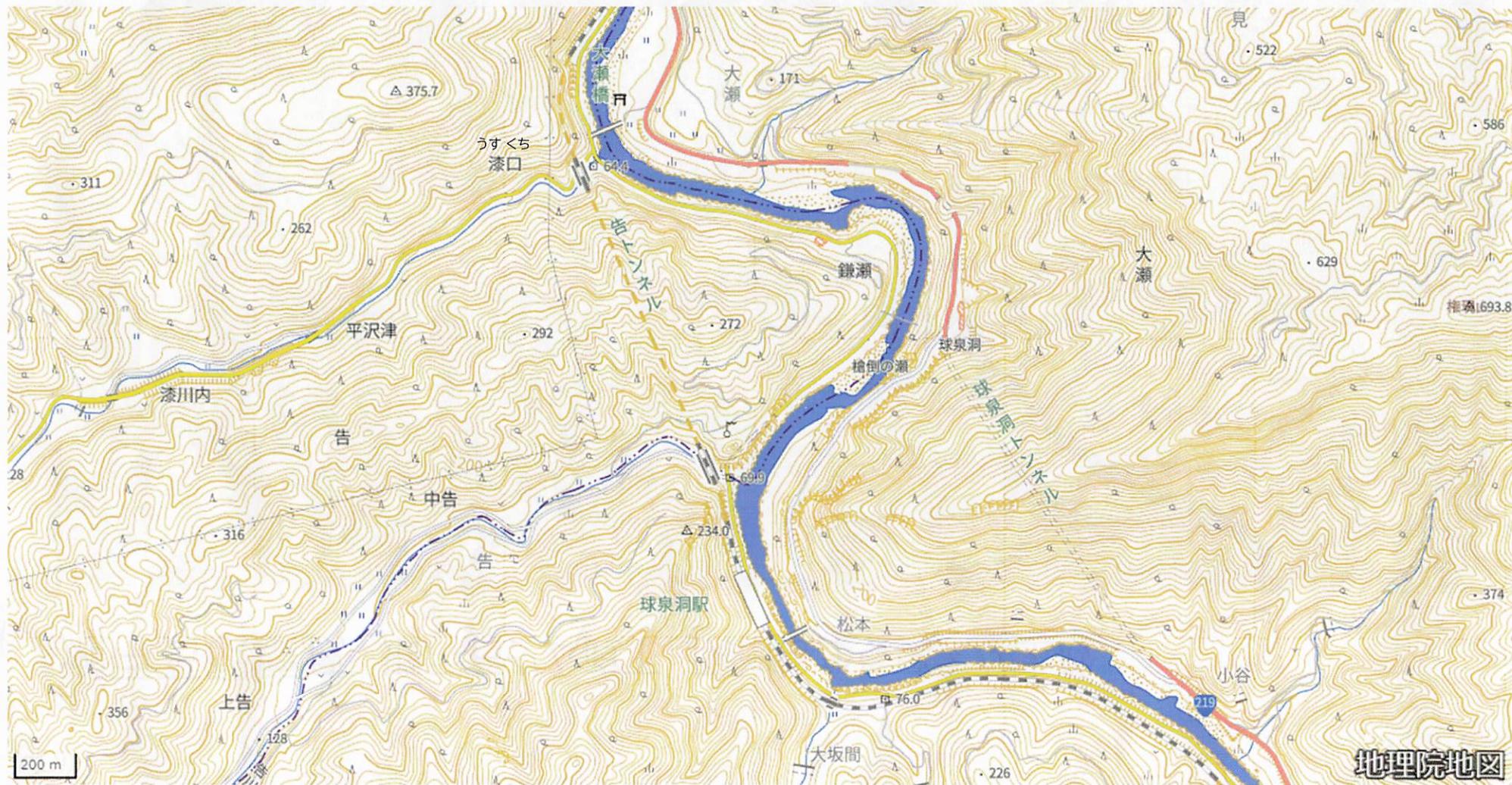


渡地区の悲劇

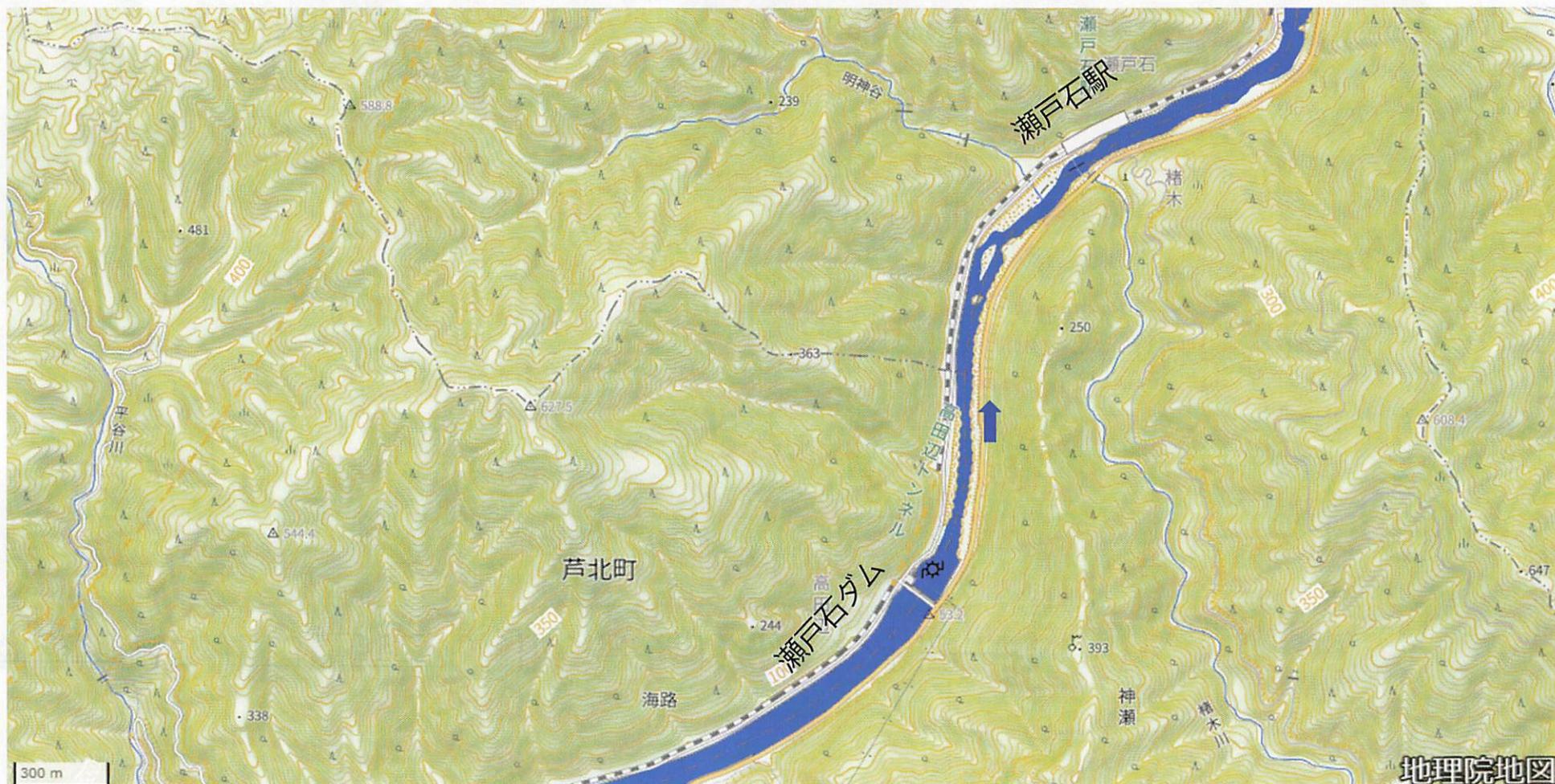
ありとあらゆる治水対策がマイナス効果



球泉洞駅 川口豊美さん:川の恵みは無限、洪水は一時



瀬戸石駅壊滅 瀬戸石ダム直下 明神谷から莫大な土砂



川辺川ダムはどのようなカラクリで計画されたか

～ 無視と捏造で計画された川辺川ダム ～

- ◆ 温暖化による豪雨災害の起き方の質的变化を無視
- ◆ 球磨川流域の豪雨災害の起き方を無視
- ◆ ダム計画に適さない豪雨災害の事象は無視
- ◆ ダム計画が求める事象を捏造
- ◆ 災害を激甚化させた河川法::基本高水治水の検証は無視
- ◆ 球磨川流域で発生する温暖化による豪雨災害は対象外にして、日本一大型の治水専用のダム開発を目的化させた公共事業

地域の豪雨災害の特性を踏まえ、地域の自然と住民の暮らしと命を守る災害防止対策と地域づくりへの転換を！

